

## D 国語問題

### 注意

- 一 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
- 二 解答用紙はすべて黒鉛筆または黒芯のシャープペンシルで記入することになっています。  
黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。  
(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
- 三 この問題冊子は16ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。  
なお、問題番号は一〜三となっています。
- 四 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
- 五 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
- 六 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷ついたりしないように注意してください。
- 七 この問題冊子は持ち帰ってください。

### マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

- 一 マークは、左記の記入例のように黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
- 二 一つのマーク欄には一つしかマークしてはいけません。
- 三 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきらずはきれいに取り除いてください。

マーク例

①
○ 1
○ 2
● 3
○ 4
○ 5

(3と解答する場合)

一 左の文章を読んで後の設問に答えよ。(解答はすべて解答题紙に書くこと)

軍隊で女性は今なお少数派である。ノルウェーが男女平等の観点から徴兵を女性に拡大するとした二〇一五年以前には、徴兵制を有しても韓国のように男子のみを徴兵するところがほとんどで、女性を含めているのはイスラエルのように例外的な存在だった。志願制をとる国の軍隊では、相対的に女性比率が高くなっているが、それでもほとんどが一割にも満たず、圧倒的な非タイシヨウ性<sup>(1)</sup>を持っている(日本の自衛隊は二〇二二年度七・九%)。

軍事任務をはたすことと「一流」市民であることとのあいだに深いつながりを持つ諸国においては、その任に就くことのできない女性が政治的な意思決定をなす立場に立つことが困難になる。ここに、軍隊・戦闘が男性に独占されてきたことを女性の不平等の根源と見做し、女性の参入によりこれを打破しようとする一部のフェミニストたちの主張の根拠があったのだ。

アメリカの議会が男子のみを徴兵登録する法律を通過させた時、女性の権利獲得と地位向上を目指す全米女性機構(NOW)がこれを性差別だとした裁判を支援し、湾岸戦争の最中に女性兵士の戦闘参加を認めさせようと決議を出したのもそのためだった。二〇〇五年にNOWがイラク戦争への反対と米軍の早期撤退を主張しつつも、直接地上戦闘支援部隊からの女性排除に反対の意を表したのも同様である。米国防総省が二〇一三年に女性兵士の戦闘参加拡大を決めるまでには、彼女たちの長年の運動があったのである。

だが、軍事的貢献を男女で等しくはたさぬかぎり、男女平等の真の実現はありえないと考えるこの主張は、軍事的な貢献度が男女で異なるのだから女性差別は正当なものだと考える保守派の主張とコインの裏表の關係<sup>(2)</sup>にある。すなわち、両者はともに戦闘への軍事的な貢献の程度でもって国民をランクづけする価値観を共有し、支えていることになる。

<sup>(3)</sup> 「闘う権利」の獲得が女性の「二流」の地位解決につながると考えるこのNOWのような立場は、軍事主義的で男性中心的なものだととしてフェミニズム内部から厳しく批判されてきた。しかし、反軍事主義・平和主義を掲

げれば、フェミニズムが軍隊の女性差別や性暴力の問題を論じることは難しくなる。軍隊が歴史的・政治的に持つてきた重要性を無視し、自らを部外者と位置づけるのは無責任な態度ではないかとの反批判も行なわれた。経済領域での女性の依存同様に、軍事領域での依存も拒絶すべきではないか、と問う者もいた。

一方、フェミニズムには、平和と「女性性」のあいだに密接な関係を想定する考え方も一大勢力としてあり、彼女たちは、女性の大半が有する母という経験やケア役割、あるいは公的権力からの歴史的な排除によって、女性性は平和に対して男性とは異なる関係を持つのだと主張した。しかし、差異がつねに利用されてきたことを思えば、このような本質主義的議論は危うさを孕んでいる。女性的特質によって、男性中心な軍隊や戦争を変えることができるといった主張には、軍事主義への対抗の基盤として限界があり、楽観的すぎる、との批判もなされた。

こうして、フェミニズムはさまざまな議論を闘わせながら、「女性⇄平和」の特別な関係をヨウゴせず、「闘う権利」の要求が国家公認の暴力を正当化しないような道を探ろうと格闘してきたのである。

しかし、現実政治は、フェミニズムのなかにある男女平等と平和的女性の主張とをうまく組みあわせながら進んできている。国連では二〇〇〇年に安全保障理事会決議一三二五号が採択された。平和と安全保障をめぐるあらゆる活動に女性の参加とジェンダー視点の導入を要求するこの決議を歓迎する人びとのなかには、今や「男女は同じなのだから女性も軍隊に適している」ではなく、「男女は異なるのであり女性も軍隊に適さない」でもなく、「男女は異なるのであり女性のほうが軍隊に適している」と主張する者もいる。ここでは、女性が軍隊には適さない理由とされてきた性質——穏やかさや他者への共感、争いを調停する融和的なふるまい——が、今日の軍隊の多様な任務に合致したものととして評価され、もつと「女性化」を、もつと「女性的な兵士を」が解として導き出されるのである。だが、フェミニズムは自由や平等といった近代的理念に依拠しながらも、つねにそれらを批判的に吟味する視点を有してきたはずである。ならば、軍隊の「女性化」とは何を意味するのか、「女性的な兵士」は実際に戦争でどのような役割をはたしているのかについても慎重に問うていく必要があるだろう。

自衛隊は創設以来国民に「愛され」ようと、その軍事的な性質を和らげ市民社会のなかに溶けこむ努力をつづけ、女性たちはそのなかでつねに重要な役割をはたしてきた。そのような役割は、女性という存在が軍事化されたイメージとはほど遠いと思われることで力を発揮する。そして、ジェンダー化されたイメージの利用は、<sup>(7)</sup> けつして自衛隊のなかでのみ起こっているわけではない。九・一一以降のアメリカでは、勇敢な女性兵士のイメージが、抑圧されたアラブ女性の「救済」として対テロ戦争を正当化する重要な役割をはたした。イラクとアフガニスタンでは女性兵士のみで構成されたFET (Female Engagement Teams) が活躍し、地元女性たちからの情報収集のみならず、彼女たちのニーズの把握や教育、啓発活動に力を発揮した。こうした慈悲深い活動がどのようにジェンダー化されているのか、そのことが、わたしたちの目を何から逸<sup>そ</sup>らさせることにつながっているのかに注意を向ける必要があるだろう。

(佐藤文香『女性兵士という難問——ジェンダーから問う戦争・軍隊の社会学』による)

問

(A) 線部(イ)・(ロ)と同じ漢字を含むものを、左記各群の中から一つずつ選び、それぞれ番号で答えよ。

(イ) タイショウ	1 お山のタイショウ	(ロ) ヨウゴ	1 菌をバイヨウする
2 タイショウ的な色づかい	2 薬のヨウリヨウを守る	2 ヨウゴ	2 代表選手をヨウするチーム
3 タイショウ療法を施す	3 国威をハツヨウする	3 ヨウゴ	3 ポンヨウな人間
4 点タイショウな図形	4 代表選手をヨウするチーム	4 ヨウゴ	4 ポンヨウな人間
5 砂漠を旅するタイショウ	5 ポンヨウな人間	5 ヨウゴ	5 ポンヨウな人間

(B) 線部(1)について。その具体的な内容として最も適当なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- 1 一部の男性による闘う特権の独占に正面から対抗することなしに、男女間の不平等を緩和するため。
- 2 女性が積極的に軍隊の全組織に加わることにより、軍事的暴力そのものの正当性を問いなおすため。

- 3 政治的な意思決定を行う立場に女性がつくことにより、軍隊における女性の地位を向上させるため。
- 4 戦闘への参加度の違いをなくすことによって、社会における女性差別の最大の根拠を無化するため。
- 5 男女それぞれの社会的な地位が軍務上の負担に見あっていない状況に関し、不均衡を是正するため。

(C) 線部(2)について。ここでの意味として最も適当なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- 1 外見は完全に一体化しているのに、二律背反的な関係。
- 2 正反対に位置するせいで、いつまでも不即不離の関係。
- 3 相互補完的であるにもかかわらず、対立し続ける関係。
- 4 同類嫌悪的な感情のため、議論がいつもすれ違う関係。
- 5 両立不可能なようであり、同一の基盤に依拠する関係。

(D) 線部(3)について。このNOWのような立場が「軍事主義的で男性中心なもの」として批判されたのはなぜか。その具体的な理由を、本文中の表現を用いて、句読点とも三十字以上四十字以内で説明せよ。

(E) 線部(4)について。「反批判」をした側が「無責任」と見なしたのはどのような「態度」か。その説明として最も適当なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- 1 軍隊の組織内で繰り返される性暴力の犠牲者の立場に、つねに自己同一化する態度。
- 2 軍隊への直接的な貢献を否定し、もっぱら平和のみを希求していると主張する態度。
- 3 軍隊や戦争の暴力性に関する研究は、男性が率先して取り組むべきだと考える態度。
- 4 女性差別を支える社会の構造を歴史的に構築したのは男性のほうだと指摘する態度。
- 5 政治的に戦争の開始や継続をめぐる決定を左右する立場にない実情を想起する態度。

(F) 線部(5)について。ここでいう「本質主義的議論」の前提として最も適当なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- 1 軍隊が、その起源からして女性の参加を排除する構造を持っていること。

- 2 女性が、身体的・社会的に男性とは共有できない固有の特質を持つこと。
- 3 戦争が、男性と女性の定義上の差異をいつそう深刻化させてしまうこと。
- 4 男性も女性も、戦争の不条理を前にすれば根源的に同じ人間であること。
- 5 平和とは、そもそも暴力の被害者の側に立たねば実現不可能であること。

(G) ——線部(6)について。その理由として、最も適当なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- 1 軍隊で女性がより責任ある地位を占めれば、男性への過度な依存が解消されるから。
- 2 女性の活躍により、男性に潜在する共感や調停の能力が効果的に引き出されるから。
- 3 ただでさえ少数派の女性兵士が男性の行動を模倣しがちな状況を改善すべきだから。
- 4 男女に大きな差異はなく、女性も軍隊において男性並みに活躍する能力があるから。
- 5 伝統的に女性らしいとされる性質を必要とするような軍事行動が増加してきたから。

(H) ——線部(7)について。「ジェンダー化されたイメージの利用」の具体例として、本文の内容と合致するものを1、合致しないものを2として、それぞれ番号で答えよ。

- イ 軍隊における女性比率の上昇を、外部にも受け入れやすい形で提示する。
- ロ 女性的とされてきた慈善活動を通じて、軍隊の男性中心主義に抵抗する。
- ハ 女性による女性の権利保護という名目で、海外派兵を社会に許容させる。
- ニ 従来の人像には収まらない存在感を發揮し、市民に親近感を抱かせる。
- ホ 同性である強みを活かして、戦闘地域の女性市民と互恵的な関係を結ぶ。

二 左の文章を読んで後の設問に答えよ。(解答はすべて解答用紙に書くこと)

眠りにも「品質」というものがある。いまという時代、少なくともいわゆる先進文明諸国にあつては、衣食住等と同様に、眠りにおいてもまた、単に空腹を満たし雨露を凌ぐ<sup>しの</sup>といった、つまり必要最小限の欲求の充足を超えて、それ以上のもの、より良質な、より快適なものが、求められているのである。眠りもまた一つの文化的欲望となつていると言つて差し支えないだろう。もつとも、相変わず眠りを敵視して、できるだけ睡眠時間を減らしたいと欲している人々も少なくない。いやむしろ、そういう人たちのほうが圧倒的で、それが世の中の大勢と言ふべきかもしれない。<sup>(1)</sup>そのことは、眠りが文化的欲望となつていくことの反証となるどころか、かえつてその何よりの証拠となるものなのである。というのも、そこで敵視され、削られるべきだと考えられているのは、訝しい<sup>いぶか</sup>眠り、要するに惰眠であつて、いまのところはまだ、睡眠全般が否定されているわけではなく、そこにおいて<sup>(2)</sup>はむしろ、効率のいい眠りこそが積極的に求められているからである。効率のいい高品質の眠り、それがいまこぞつて求められているのである。

眠ることさえできれば何でもいという段階から、欲望の対象として内容を問われるものとなつて、眠りにも品質があることが認められて、つまり、訝しいものでありつつ、同時に求められるものであることによつて、眠りははじめて、真に問題化されたのだと言ふべきであろう。そこにおいてはじめて、何をもちて惰眠と言ふのか、眠りの本質とは何か、あるべき眠りとは如何なるものか、要するに、眠りは、その規範が問われねばならないものとなるからである。そして、そういうものとしての眠りの規範の研究がもつばら生理学にユダね<sup>(4)</sup>られているというのが、歴史的な現状なのである。

だが、何故、生理学なのか？

睡眠が生理現象であるから、というのがごく自然な答えであろう。しかし、<sup>(3)</sup>ここに眠りの畏<sup>わな</sup>がある。われわれは、睡眠が純然たる生理現象ではないことを知っているが故に、眠りの規範を生理学に求めたのである。眠りが

純然たる生理現象にすぎないのであれば、惰眠も規範もありはしない。生理現象と解された眠りに対して、惰眠だとか規範だとかを云々する<sup>うんぬん</sup>というのは、動物の生シヨク行動に性道徳を説くようなものである。睡眠が生理的欲求にすぎないのなら、惰眠などあろうはずもなく、規範が求められることなど、なおさらあり得ないだろう。

むしろこう考えるべきなのだ。すなわち、純然たる生理現象であるということこそが、求められている眠りの規範なのだ、と。生理学に睡眠の規範の探究がゆだねられたのは、睡眠が生理現象であるからではなく、生理現象が規範であるからだ、と。しかし、純然たる生理現象であることこそが、眠りの規範であるということは、逆に言えば、われわれは普段なかなか純然たる生理現象としての眠りを眠ることができないということ、そしてそのことをわれわれが、惰眠とか、あるいは、効率の悪い眠り、品質の劣る眠りとか感じているということでもある。だとすれば、純然たる生理現象としての眠りとは、われわれの求めてやまぬ高品質の眠り、効率のいい眠りを体現した眠りであらねばならないということになる。それは、われわれが日常の眠りに感じている不満をすべて解消するものでなくてはならない。純粹に生理的な睡眠であれば、そこに不満の生じるようなことはあり得ないはずだ、と。不安や思い煩い、あるいは騒音といった環境要因によって中断されることなく、ぐっすりと眠れ、心身ともに完全にリラックスした状態となり、目覚まし時計に無理やり起こされるのではなく、自然に心地よく目覚めた後には、前日の疲労から完璧に回復している。生理現象としての眠りは、そうしたことをすべてを実現する万能薬でなくてはならない。

ということ、言い換えれば、人間が社会的存在であることからくる睡眠の阻害要因をすべて取り除いたものが、純然たる生理現象と呼び得る睡眠であるということになる。人間が社会的存在であることを止め、非社会的存在として眠ること、それが生理現象としての眠りなのである。不安や思い煩いを持つこと、起きなければならぬ時間が決められている等々のことは、人間が社会的存在であることの、言わば必然的条件のようなものである。人間が社会的存在である限り、誰もが毎日同じ眠りを眠ることなどあり得ようもないのだ。しかし、生理的睡眠は、<sup>(注1)</sup>ノンレム睡眠と<sup>(注2)</sup>レム睡眠からなる九〇分周期の睡眠パターンを一晚に数回繰り返し、次第に眠りが浅

くなくて目覚めるものであり、それ以外の、例えば、個人的事情によって左右される不眠とか、眠りの中断とかは、偶然の非本質的なものとして生理現象としての眠りから排除され、可能性としては、誰もが毎日同じように眠り得るものでなければならぬのである。

純然たる生理現象としての眠りがこうしたものであるとすれば、それは二重の意味で、人間が社会的存在であることの必然的帰結に他ならず、それはそれ故、むしろ社会的存在としての眠り、即ち、社会的睡眠すまわと言うべきものなのである。一つには、そうした生理的睡眠が欲望され求められるのは、人間が社会的存在であり、社会的睡眠をしか眠れないからこそであるということ、そしてもう一つには、そうした生理的睡眠は、のものなどではなく、社会的、人為的にしか実現し得ないものであるということ、この二重の意味において、生理的睡眠とは社会的睡眠以外の何ものでもないのである。

われわれの眠りが、決して純然たる生理現象と呼び得るようなものではなく、社会的存在としての諸々のしがらみに捕われた、言わば、いびつな眠りでしかなく、そうであればこそ、純然たる生理現象としての眠りが規範とされなければならなかったという事情の中に、生理現象としての眠りが、すでに過剰なまでの意味づけを、価値づけをされてしまっていること、そして、それが社会的、人為的な操作によってしかもたらせられないということが物語られている。人間は、とりわけ現代社会に生きるわれわれは、眠りに際してもなお、自然のままでは社会的存在であり続け、非社会的存在としての眠りを眠るには、再び社会的存在としての努力を必要とするという逆説である。実際、生理現象としての眠りを眠るために、人間ほどに眠る環境に気を配る動物は他にいない。

（金塚貞文『眠ること 夢みること』による）

（注） 1 ノンレム睡眠——身体および脳の活動が低下し、両者が休息状態にある睡眠。深さに応じて三ないし四段階に分けられる。

2 レム睡眠——ノンレム睡眠とは異なり、脳は活動状態にあって、眼球が頻繁に動くことに特徴づけられる睡眠。

問

(A) 線部(イ)・(ロ)を漢字に改めよ。(ただし、楷書で記すこと)

(B) 線部(1)について。その理由として最も適当なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- 1 多くの人々が眠りを敵視している以上、いかなる形であれ、それは欲望の対象たりえないから。
- 2 睡眠を極力削減したいという欲望の背景には、質よりも量を重んじる文化的な発想があるから。
- 3 眠りそのものを悪と捉える人でも、それが必要であることだけは否定できずにいるから。
- 4 睡眠において必要最低限の欲求を充足させるだけではなく、品質を求めることが先進文明国の条件だから。
- 5 眠りを敵視する人もそれを否定しているわけではなく、効率性や品質という積極的価値を求めているから。

(C) 線部(2)について。その説明として最も適当なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- 1 それまで関心を呼んでいなかった眠りが、怠惰を助長しているとの疑いをかけられた。
- 2 眠りが欲望から欲求に変わったことで、その文化的な正当性が問われるようになった。
- 3 眠りが同時に肯定と否定の対象となったため、その評価をめぐって人々のあいだに迷いが生じた。
- 4 眠りが文化的価値を帯び、全面的には受け入れることも拒絶することも難しくなり、規範が必要となった。
- 5 眠りの効率性が最優先された反動で、その文化的な質の向上が現代社会における焦眉の課題となった。

(D) 線部(3)について。その説明として最も適当なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- 1 眠りは純然たる生理現象とはいえないのに、そうであるかのように思われる。
- 2 社会的規範に合わせて生理現象を歪曲する誘惑に研究者を陥らせる。
- 3 実態と理想があまりにもかけ離れているために、理想を実態と錯覚させる。
- 4 生理現象として質の高い眠りを実現することが強迫観念と化す。
- 5 生理学だけが眠りを説明できるといふ過大評価を抱かせる。

(E) 線部(4)について。その内容として最も適当なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

1 純然たる生理現象としての眠りでは考慮されず、外部の現実に左右される要素。

2 眠りが社会的現象であるために、本質を問えなくなっている要素。

3 なによりも優先されるべき社会性と比べれば、軽視されて然るべき個人的事情しかに関わる要素。

4 規範にできるような法則性を欠いていればこそ、かえって科学の対象にふさわしい要素。

5 現代人が思い通りに眠ることを妨げている心理的な抑圧に関わる要素。

(F) 空欄  にはどのような言葉を補ったらよいか。本文中の二字の語句を抜き出して答えよ。(ただし、楷書かいしょで記すこと)

(G) —— 線部(5)について。その説明として最も適当なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

1 純然たる生理現象なるものが現実には存在せず、実験室でしか成立しない抽象性を帯びていること。

2 生理現象は文化的な意味を欠いて単純素朴に見える一方で、豊かな多義性を宿していること。

3 睡眠は個体的な現象であるにもかかわらず、その質が比較対象となることで社会化されていること。

4 生理現象として科学的に解明されるはずなのに、そのあるべき姿が社会的に決定されていること。

5 睡眠からその本質には含めがたい部分を除去した上で、残ったものが過度に理想化されていること。

(H) 次の各項について、本文の内容と合致するものを1、合致しないものを2として、それぞれ番号で答えよ。

イ 眠りにも効率性と品質を要求する現代社会は、物事を労働力と商品価値という尺度で計ろうとする。

ロ 惰眠に厳しい目が注がれるという事態には、睡眠に課されている社会的規範の一端が窺うかがわれる。

ハ 眠りが純然たる生理現象に還元されれば、それはわれわれが眠りに感じている不満を解消する万能薬となる。

ニ 人間はどこまでも社会的存在であり、そうした状態を脱しようとする事それ自体もまた社会的であらざるをえない。

三 左の文章は、蹴鞠をお家芸としていた飛鳥井家の当主雅有が、鞠の師匠としての日常を記した『春の深山路』の三月の記事の一節である。これを読んで後の設問に答えよ。(解答はすべて解答用紙に書くこと)

六日、内裏の御鞠あり。人数なくて、あいなし。<sup>(1)</sup>夜べになりて、月朧にて、殊に艶ある夜なりとて、女房たち一両、男一両、毘沙門堂、持明院殿まで駆け歩く。女房、男、連歌もはべりしやらむ、忘れはべりて書かず、口惜し。花の枝、手ごとにまでこそなけれど、折りて帰り参る。

七日、花山院の右府入道の栗田口の山荘へ新院御幸なるとて、御鞠あるべし。参るべしとて、入道のもとよりも、また奉行重清がもとよりも使ひあり。足を損じて参らず。

今日は殊に風荒し。明日とも頼まれぬ風の前の花なり。<sup>(2)</sup>昨夜の名残も堪へがたし。<sup>(3)</sup>限りの梢ゆかしなど、女房の中より申し出ださるれば、昨夜なかりし殿上人ども、今日見ざらむには、この春はさてこそはとて、この翁一人を何のゆゑとなく責め居たり。今日は御人少ななり。なまかりそとて、御連句の座に能発の尉を召し置けとて、<sup>(5)</sup>捕えられて祇候したり。残りの者ども、季顕朝臣、業顕等、<sup>(6)</sup>いかがして、とやうやうに申す。<sup>(7)</sup>雅藤、職事なれど、<sup>(8)</sup>好き心殊にある者にて、御連句に候ふも、心そらなり。<sup>(9)</sup>俊光も執筆するそらもなし。<sup>(10)</sup>

やうやうにして逃げ出でて、女房にこの翁の車を参らす。<sup>(注7)</sup>隆氏朝臣車に混み乗りて、千本へ行く。<sup>(注8)</sup>暮るる程の花の色いとおもしろし。さるほどに、雨おびたたく降る。いづくよりか尋ね出でたりけむ、傘を一つ求め出でたり。「濡るとも花の陰にこそ」とて、なほ去らずしばしこそあれ、<sup>(注9)</sup>あまりなれば、「濡れじと傘の下に隠れむ」といひて、走り入りぬ。その後、人々皆かがまり立てり。雨止みげもなく降れば、長老のもとへ女房車やり入れて、下ろしつ。<sup>(注10)</sup>晴間待つ程、いさ<sup>(b)</sup>申させて聞かむとて、僧どもそそのかして、<sup>(c)</sup>釈迦念仏一時、<sup>(d)</sup>礼讃一時、申さず。その程にぞ晴れぬる。この雨は、<sup>(e)</sup>花のためは憂けれど、<sup>(f)</sup>菩提の種とはなるらむなど、女房も興に入りて申さる。思ひ出でなるべし。

(注) 1 一両——牛車一台のこと。

2 花山院の右府入道——藤原定雅のこと。このとき前右大臣で、六十三歳。

3 新院——龜山院のこと。 4 能発の尉——才氣かんぱう煥発の老人の意味。

5 職事——藏人のこと。 6 執筆——連歌・連句を記録する係。

7 隆氏朝臣車——隆氏朝臣の車、の意。 8 千本——千本釈迦堂（大報恩寺）がある。

9 濡るとも花の陰にこそ——「桜がり雨は降りきぬ同じくはぬるとも花のかげに隠れむ」〔拾遺和歌集〕春 読人しらずを踏まえる。

10 長老——千本釈迦堂の長老のこと。

## 問

(A) ——線部(1)の意味として最も適当なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

1 思いやりがない 2 華美ではない 3 いとおしくない

4 おもしろくない 5 せわしない

(B) ——線部(2)の解釈として最も適当なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

1 昨晚見た名月に対する名残惜しさ

2 昨晚お会いした人々に対する名残惜しさ

3 昨晚見た桜に対する名残惜しさ

4 昨晚の趣ある雰囲気に対する名残惜しさ

5 昨晚楽しんだ連歌に対する名残惜しさ

(C) ——線部(3)の解釈として最も適当なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

1 今をかぎりの桜の梢をもう一度見たい

- 2 風に吹かれる木々の梢が折れないか心配だ
- 3 命のかぎりに咲く桜の梢を折り取ってきたい
- 4 この上なく珍しい品種の桜を見てみたい
- 5 残り一本となった桜の木を何とか救いたい
- (D) ——— 線部(4)の解釈として最も適当なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。
- 1 また皆で会うことはできないだろう
- 2 何とも風情のない印象で終わるだろう
- 3 このままもう桜を見られなくなってしまいうだろう
- 4 筆者(雅有)から鞠の指導を受けずに終わるだろう
- 5 きつと女房たちと知り合う機会はないだろう
- (E) ——— 線部(5)の意味として最も適当なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。
- 1 いつとなく 2 悪気なく 3 目的もなく
- 4 わけもなく 5 幾度いくどとなく
- (F) ——— 線部(6)は誰のことをさしているか。最も適当な人物を、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。
- 1 花山院の右府入道 2 新院 3 重清 4 雅藤 5 筆者(雅有)
- (G) ——— 線部(7)の現代語訳を五字以内で記せ。ただし、句読点は含まない。
- (H) ——— 線部(8)の現代語訳として最も適当なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。
- 1 万事に興味がわいてしまう者で
- 2 連句だけのことさら愛好している者で
- 3 誰よりも色好みの者で
- 4 風流心が特にある者で

5 行きすぎたいたずら心をもった者で

(I) ——— 線部(9)について。なぜそうなったのか。その説明として最も適当なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- 1 じつは連句があまり好きではないから。
- 2 桜の花のことが気になって仕方ないから。
- 3 自分よりも下手な人たちの連句を記録したくないから。
- 4 翁が責められていることが気の毒だから。
- 5 まわりの人たちの風流心の強さにうんざりしているから。

(J) ——— 線部(10)の解釈として最も適当なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- 1 あまり長居するわけにはいかないの
- 2 度を過ぎた風流心を反省したので
- 3 あまりに長く時間が経過していたので
- 4 あまりに雨がひどいので
- 5 まわりの人を捲き込むわけにはいかないの

(K) ~~~~~ 線部(a)～(c)の助動詞の文法上の意味として最も適当なものを、次のうちから一つずつ選び、それぞれ番号で答えよ。ただし、同じ番号を何度用いてもよい。

- |      |      |      |        |        |
|------|------|------|--------|--------|
| 1 尊敬 | 2 使役 | 3 受身 | 4 打消推量 | 5 打消意志 |
| 6 過去 | 7 完了 |      |        |        |

(L) 空欄  に入る言葉として最も適当なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- |      |      |      |                    |      |
|------|------|------|--------------------|------|
| 1 念仏 | 2 連句 | 3 雑談 | 4 茶話 <sup>さわ</sup> | 5 挨拶 |
|------|------|------|--------------------|------|

(M) ——— 線部(11)の解釈として最も適当なものを、次のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- 1 桜の花を愛する身としては不本意だが
  - 2 桜を見続けられなかったのは腹立たしいが
  - 3 桜の花を散らすという意味では残念だが
  - 4 散りゆく桜の花にとつてもつらいだろうが
  - 5 桜を見られるのは今年が最後だと思ふと悲しいけれど
- (N) 次の各項について、本文の内容と合致するものを1、合致しないものを2として、それぞれ番号で答えよ。
- イ 内裏での鞠の会のあと、人々は桜を愛<sup>め</sup>で、全員で桜の枝を手折って帰ってきた。
  - ロ 筆者は亀山院の御幸に伴う蹴鞠の会に召されたが、雨と風の強さを理由に断った。
  - ハ 前夜に続けて女房たちが筆者を花見に誘うと、筆者は何とか抜け出してこれに応じた。
  - ニ 人々は古歌を踏まえたり、もじったりしながら、雨の中での花見を楽しんだ。
  - ホ 雨は結果的に女房たちが仏縁を結ぶきっかけとなった。